

# 地域おこし協力隊

通信

VOL.119

集落支援担当 小林典之隊員



皆さま、こんにちは。地域おこし協力隊の小林です。11月3日に開催された「といかん・ふるさと同窓会 in 東京」に参加させていただきました。

前半の同窓会には41名の方々がご参加くださり、うち半数がといかん出身または居住経験者、残り半数が「といかんラブ」の皆さまでした。出身者や居住経験者の方々は旧交を温めたり、まさに同窓会のような雰囲気です。世代を超えた交流が広がり、大変盛況でした。会の間は「ミナといかん」事務所とオンラインで中継を行い、現在のといかんについての質問ややり取りもあり、終始ほのぼのとした温かい雰囲気に包まれていました。特に印象的だったのは、「といかんラブ」の皆さまの多さと、その深い愛情です。といかんと心から応援してくださる方々との交流は、私自身にとっても非常に楽しく、心温まるひとときとなりました。

後半の懇親会には、私と役場関係者を含めて24名が参加され、出身・居住経験者が6名、「といかんラブ」の方が16名と、こちらも多くの方々にご参加いただきました。懇親会では、出身者とラブ枠の皆さまとの交流がさらに盛り上がりを見せ、笑顔の絶えない時間となりました。

この「といかん・ふるさと同窓会 in 東京」の趣旨は、関係人口を増やし、都会と田舎の相互交流を通じて、といかんと元気にしていくことです。

今回いただいた貴重なご意見を参考に、今後も第2回、第3回と継続して開催していけたらと考えております。また、東京以外でも問寒別ゆかりの方が多い地域での開催も検討していきたいと思っております。その際は皆さんも現地とのオンライン中継に是非参加していただけると嬉しいです。



▲同窓会の様子



▲懇親会の様子

■今月号も最後までお読みいただき、ありがとうございます。先月号の裏窓で身体に気を付けてくださいと言いつつ風邪を引いた菅原です。年々風邪の治りが遅くなっているような気がします。

■先月号より担当しておりますが、広報誌の記事で使用する写真の選定に苦労しています。撮影者である私がカメラに不慣れということもあり、なかなか「これだ！」という写真が撮れず、記事・写真ともに広報誌製作の難しさを実感しております。

■この広報誌が皆さんのお手元に届く頃には、今年も残すところ1ヶ月を切っているぐらいでしょうか。ちよつと早いですが、皆さん良いお年をお迎えください。

## ほろのべの裏窓

十月定例俳句会作品 幌延ほおずき俳句会

分かれゆく雲の行方や秋の峰  
秋嶺や土産に拾う葉の葉  
頂を湖の底まで秋の峰  
黄に染めて秋冷ややかに山降りぬ  
秋嶺に抱かれ過ぎし学の日々

熊谷 陽一  
小川 遼太郎  
熊谷 千恵子  
田中 順子  
富樫とも子



まちのうごき

人口

男	1,057 ( 2 )
女	954 ( -1 )
合計	2,011 ( 1 )

世帯数 1,179 世帯 ( 2 )

令和7年10月末日現在 ※ ( ) 内は前月比

広報へのご意見、ご要望をお寄せください

総務企画課 企画振興係

電話 5—1114 / 告知端末機 5—8814



広報ほろのべの窓 12月号

令和7年12月  
発行／幌延町

企画・編集／総務企画課 企画振興係 印刷／株式会社須田製版  
幌延町ホームページアドレス／<https://www.town.horonobe.lg.jp>

UD FONT この広報誌は、読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを採用しています。

●この広報誌は、資源保護のため再生紙を利用しています。